

# NISSSEIKAN STUDY GUIDE 2026

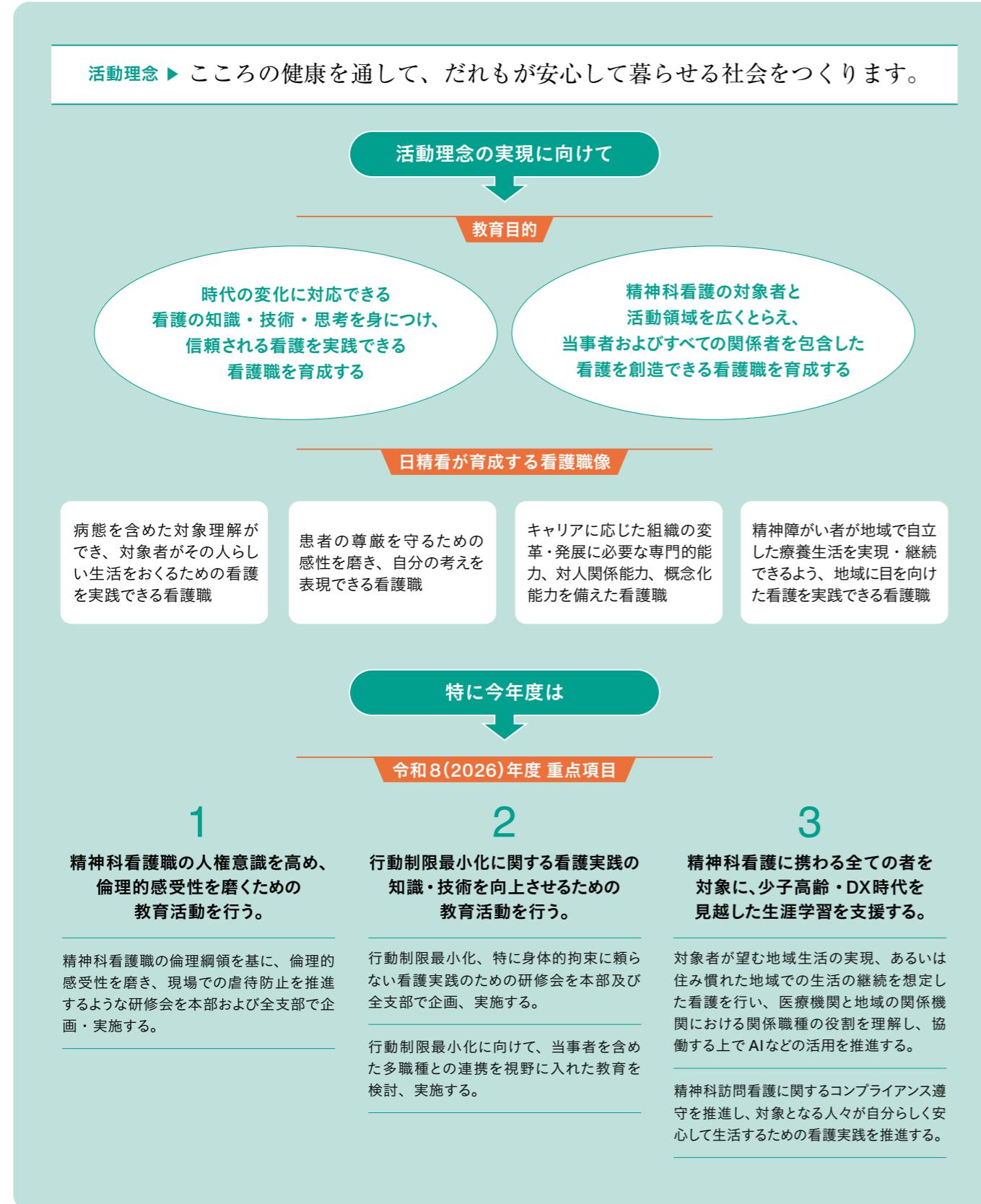
精神科看護職の  
「成長したい！」を支える

日精看スタディガイド 2026  
日本精神科看護協会

# 精神科看護職の「成長したい！」

一般社団法人日本精神科看護協会（略称：日精看=にっせいかん）は、活動理念を実現するために教育目的を掲げ、さらに毎年定める重点項目をふまえて教育事業を行っています。あなたの「成長したい！」にぜひご活用ください。

## ✓ 私たちがめざすこと



# を支える日精看の教育事業

## ✓ 日精看本部・支部が多様な学びの機会を提供します

### 本部主催 全国仲間と学び合う！

精神科看護に必要なさまざまな知識を提供するとともに政策や国の動向をいち早く発信します。全国の精神科看護職が時代のニーズに対応した知識・技術・思考を身につけ多様な場で活躍できるための研修会を開催します！

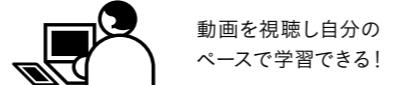
継続学習にかかる研修会…p12-16 日本精神科看護学術集会…p21  
看護管理にかかる研修会…p16 精神科認定看護師制度…p22  
診療報酬の算定にかかる研修会…p16 特定行為研修制度…p23  
倫理教育推進事業による研修会…p17  
行動制限最小化を実現するための  
看護実践推進事業による研修会…p17  
看護実習指導者講習会…p20

### 支部主催 地域の仲間と学び合う！

日精看の47都道府県支部の精神科看護実践者が研修会を企画します。“いま”的実践現場にピッタリの学習内容を、身近な場所で受講できます。知識や技術を学ぶ場としてだけではなく、近隣施設の精神科看護職とのつながりをもてます。また、他の都道府県から参加できるライブ配信研修を行っている支部もあります。支部研修会は「manaaable(マナブル)」から検索できます。LINE・XなどのSNSや、メルマガで毎月、支部研修会の案内を配信します！

## 研修会の開催方法～オンライン研修(オンデマンド/ライブ)と集合研修～

### オンデマンド研修(VOD)

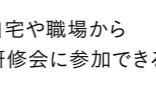


動画を視聴し自分のペースで学習できる！

配信期間中はインターネット環境があればいつでも、どこでも、何度でも、ご自分のタイミングで研修会の動画を視聴できます。精神科看護の基礎知識について62本の研修会と8つのセット研修を配信します。



### ライブ配信

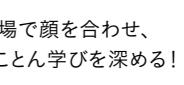


自宅や職場から研修会に参加できる！

決められた時間にインターネットにアクセスし研修会を受講します。全国各地から集まる受講生とオンラインで講義を受け、コミュニケーションを図りながら学びを深めます！



### 集合研修



会場で顔を合わせ、とことん学びを深める！

演習やディスカッションを通して看護実践能力の向上をはかります。受講生同士の情報交換でネットワークを広げる機会にもめざします。

## 研修会の詳細や申込は「日精看オンライン」から「manaaable(マナブル)」へ



「日精看オンライン」では、精神科看護の情報プラットフォームとして、日精看の教育事業に関する内容を含め、さまざまな最新情報を発信しています。日精看版クリニカルラダーについての情報も発信しています！クリニカルラダーを『見る』『知る』『活用する』ことができるよう動画コンテンツもあります。看護実践力の向上に学びを実践につなげる日精看の研修会を活用ください。学術集会や精神科認定看護師制度についてもタイムリーに情報を提供しています。

### このマークが日精看「manaaable(マナブル)」の目印です

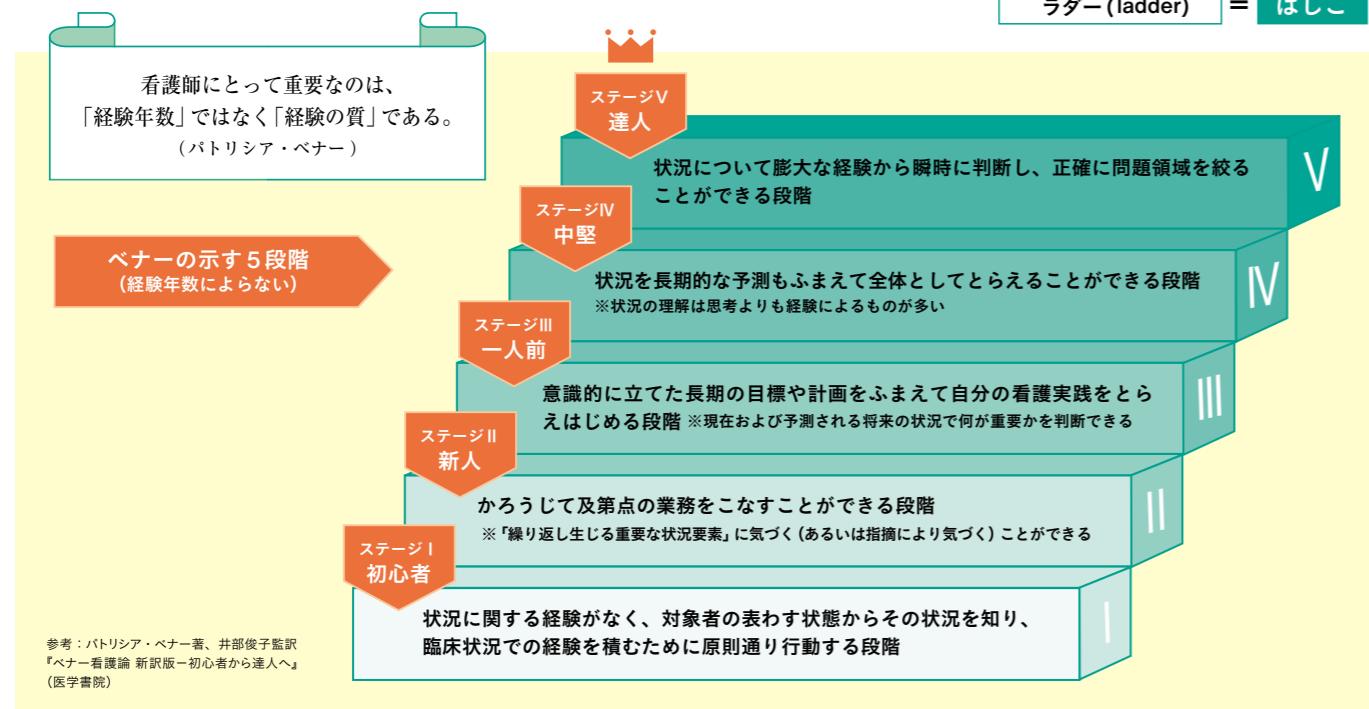


当協会のマナブルにアクセスしたときは、日精看「manaaable(マナブル)」のマークをご確認ください！他団体の「manaaable(マナブル)」にアクセスされ、ログインできないというご相談を多数いただいております。

# 精神科看護職のクリニカルラダー 「日精看版ラダー」をご活用ください

日精看では、4つの看護職像（P.2）の育成にむけて、たしかな精神科看護の実践能力を身につけるための継続学習支援として、2022年度（令和4年度）に「精神科看護職のクリニカルラダー」（日精看版ラダー）を公表しました。

## クリニカルラダーとは



## 看護職の能力開発・評価システムの1つです

「クリニカルラダー」は、看護教育の第一人者であるアメリカの看護理論家、パトリシア・ベナーの看護論をもとにした能力開発・評価システムです。「初心者」「新人」「一人前」「中堅」「達人」の5段階に分類され、到達段階に応じた看護実践能力が示されています（上図）。ポイントは、看護職にとって重要なのは「経験年数」ではなく「経験の質」であるという点です。つまり、経験年数を基準に「3年目になれば一人前」「15年経ったから達人だ」とはいえず、その人がもつ看護実践能力によって到達段階の評価が可能になるという考え方です。

## 活用することで、個人にも組織にもメリットがあります

- 各段階の到達目標を示しているので、自身が到達している段階や次のステップに向けた課題を確認でき、自己評価や継続学習の指針になります。
- 段階ごとに期待される看護実践能力が示されているため、多様なバックグラウンドをもつ看護職に対応できます。
- 段階が上がると、活動が広くなったり、深くなったり、新たな役割を担うようになるため、仕事のやりがいにつながります。
- 教育担当者や管理者が、スタッフの人材育成や能力開発に活用することができるため、組織の成長を実現できます。

## 各種資料やツールをご活用ください



### 「精神科看護職のクリニカルラダー」導入と活用の手引き

『日精看ニュース』の連載や日精看版ラダー意見交換会の内容をもとに、ラダーを導入する際のプロセスや運用を続けていくうえで大切なことなどをまとめました。これからラダーを導入しようと考えている方、導入にむけて準備をすすめている方、ラダー運用のなかで形骸化などの課題を抱えている方など、さまざまな状況のサポートとしてぜひご活用ください。

日精看の会員限定でマナブルよりダウンロードできます（無料）  
「manaable（マナブル）」で「手引き」と検索し、お申し込みください！



## 精神科看護職の成長をサポートする「日精看版ラダー」

精神科看護の機能団体として、日精看は「精神科看護職のクリニカルラダー」（日精看版ラダー）を作成しました（詳細はP.6～）。2022年度（令和4年度）より、日精看本部主催の研修会は、この「日精看版ラダー」にもとづいて行われています。

### 日精看版ラダーの主なポイント

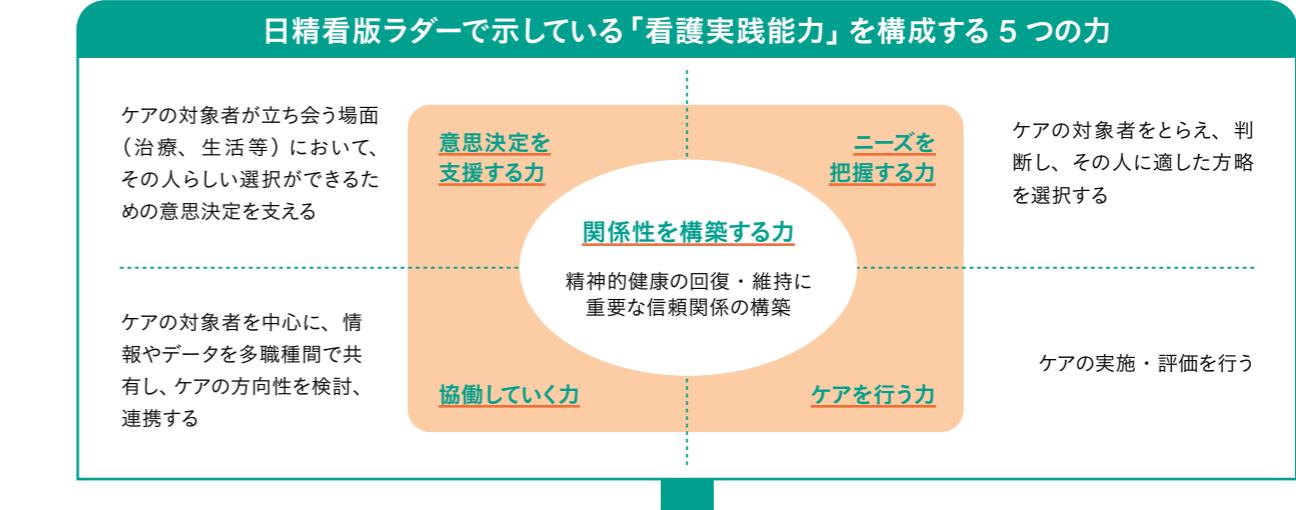
看護実践の場や、看護職の背景にかかわらず、すべての精神科看護職に共通する看護実践能力を示しています

それぞれの段階に応じた精神科看護実践能力を示しています

看護実践能力の適切な評価によって日本全体の精神科看護の質の担保・保障につながります

### 日精看版ラダーの活用によって

精神科看護の対象となるすべての人々に対して、安全で、安心できる高品質な看護を提供することができます



## 看護実践能力を高める！精神科看護職が成長するために必要なこと

OJTにより、精神科看護職としての知識や技術、考え方、姿勢を身につけること

看護実践能力が自己および他者により適切に評価されること

自身の現状、課題、そして次のステップに向けて取り組む方向性が明確であること

「日精看版ラダー」および「日精看の研修会」をぜひご活用ください！

日精看版ラダー詳細

次ページ

研修会一覧

P.12

## 日精看オンラインからアクセス！

日精看版ラダーを動画で紹介



日精看版ラダーをテーマにした『日精看ニュース』連載をまとめて掲載



► [jpna.jp/education/ladder](http://jpna.jp/education/ladder)



日精看版ラダーや関連資料をデータでダウンロードできる



研修会名を併記した一覧表のPDFもダウンロードできます。教育計画の資料や、病棟や看護部に掲示するなどニーズに合わせて、お好みのサイズで印刷してご活用ください。

# 精神科看護職のクリニカルラダー(日精看版ラダー)――

到達段階		レベルI	レベルII	レベルIII	レベルIV	レベルV
到達目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本的な看護手順に従い、必要に応じて助言を得ながら、安全に看護を実践できる。</li> <li>●部署のマニュアルを活用し、看護を実践できる。</li> <li>●自己の教育的課題を発見し、主体的に学習できる。</li> <li>●社会人として、組織の一員であることを理解し、職場のメンバーとしての役割を全うできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●根拠のある判断、看護実践ができる。</li> <li>●対象者の希望をふまえ、看護計画に基づいて、自立して看護を実践できる。</li> <li>●自己の教育的課題達成に向けた教育活動を展開することができる。</li> <li>●判断に迷うときは、自ら他者に相談し、メンバーシップを発揮して看護を展開できる。</li> <li>●対象者とのかかわりのなかで自身の課題を明らかにすることができる。</li> <li>●所属施設の理念や方針を理解し、組織の一員として、自覚ある行動ができる。</li> <li>●コスト意識を持つことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者の個別性を理解し、状況に応じた看護を実践できる。</li> <li>●自身の課題を克服しようと取り組み、自身の強み、弱みを意識して、自身の持ち味を活かした看護ができる。</li> <li>●自己の教育活動に積極的に取り組むことができ、指導的役割も意識して行動することができる。</li> <li>●組織の一員として、効果的かつ効率的に業務を行えるよう、メンバーや多職種と協働できる。</li> <li>●所属施設や部署の目標達成に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全人的に対象者をとらえ、幅広い視野と予測的な判断をもって、対象者中心の看護を実践できる。</li> <li>●対象者の満足度を高めるために、チーム全体の動きを把握し、リーダーシップを発揮した行動ができる。</li> <li>●医療全体を理解するために、広い視野で必要な知識を獲得できる。</li> <li>●精神科医療の現状をふまえて、自分の役割を理解して、業務が効果的かつ経済的に効率よく行えるようスタッフに指導的にかかわることができる。</li> <li>●所属施設や部署の理念と方針をふまえて自己の役割を考え、主体的に行動できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●より複雑で対応困難な状況において、最良な手段を選択し、対象者の満足度、QOLを高められるよう高度な看護を実践できる。</li> <li>●役割モデルを意識しながら指導にあたり、現状にとどまらず、対象者のために看護を追求し続ける姿勢を持ち、創造的な看護実践を行うとともに、多職種と協働できる。</li> <li>●対象者を尊重できる看護職の育成に携わり、広い視野で教育的な役割をとることができる。</li> <li>●精神科医療の現状および所属施設の理念や部門の目標を理解し、積極的に職場の改革に参画し、看護の質向上のために変革的な行動ができる。</li> </ul>
看護実践能力	項目A 【目標】関係性を構築する力	対象者に関心を向け、対象者の視線や表情、雰囲気、態度から相手の思いを察知し、工夫しながら関係性をつくることができる。	受容的、支持的な態度でかかわり、対象者から信頼してもらえる関係性をつくることができる。	対象者の対人関係能力が高められるよう、看護職自身の抱いた疑問や異和感、感情を意図的に利用することができる。	複雑な状況下にある対象者らと、相互にゴールを共有し、協働を意識した関係性を築くことができる。	複雑な状況下にある対象者らと、自律に向けた関係性を深めることができる。
	A1 関係構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>●普段のかかわりの場面から、対象者のペースを尊重し、脅かさずに一緒に過ごすことができる。</li> <li>●対象者の訴えを否定せずに聴き、対象者の体験を理解しながら、あるがままを受け入れることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者と対象者をとりまく人々に関心を示し続け、その背景や状況をふまえ、両者を尊重しつつ、看護職として何とかしたいという思いでかかわることができる。</li> <li>●対象者の年齢や状況、疾患の特徴に応じて、かかわるタイミングをはかり、対象者を尊重して対話ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者と対象者をとりまく人々のできていることや、わずかな変化に気づくことができる。</li> <li>●対象者に肯定的にフィードバックをしたり、意図的に気にかけていることなどを伝えることができる。</li> <li>●看護職自身が感情や行動を振り返る機会をもち、分け隔てなくかかわることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●複雑な状況下にある対象者と対象者をとりまく人々のために何かできないかを常に考えながら、相互に目標を共有し、実施・評価する際に対象者らの参加を促し、かかわりを続けることができる。</li> <li>●どのような状況にあろうとも、対象者自身の気持ちや困っていることを表出できるように、根気強くかかわることができる。</li> <li>●表出されたことについて意見を交わし、相互に理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●複雑な状況下にある対象者と対象者をとりまく人々との関係形成のプロセスをアセスメントし、対象者と看護職の相互作用によって自律に向けた関係性を築き、かかわりを続けることができる。</li> <li>●対象者の状態をみながら段階的にアプローチし、対象者が自己を理解し、自己決定ができるようにかかわることができる。</li> </ul>
	A2 看護倫理	●看護職の倫理的行動について理解し、対象者の権利を尊重した看護の必要性を理解できる。	●倫理的視点を意識して看護実践できる。また、看護場面において、倫理的なジレンマに気づき、それを言語化し、相談できる。	●看護場面での倫理的ジレンマや問題に対して常にアンテナを立て、察知したこととその理由を言語化し、他者と共有、意見交換することができる。	●些細と思える倫理的問題に対しても、それを顕在化し、互いの価値観を尊重しながら、十分話し合い、チームで合意形成することができる。	●倫理的問題に対してリーダーシップを発揮して解決に向けた行動ができる。メンバーに対して、倫理的課題解決のための指導・支援ができる。
	項目B 【目標】ニーズを把握する力	対象者の言葉や行動などから日々のニーズを考えることができる。	対象者の過去から現在までの状況を理解したうえで、日常生活上のニーズを中心とらえることができる。	対象者および対象者をとりまく人々の個別的なニーズをとらえることができる。	対象者および対象者をとりまく人々のニーズを、QOLを意識して多角的にとらえることができる。	医療チームと連携し、対象者および対象者をとりまく人々の真のニーズをとらえることができる。
	B1 情報収集	●対象者の反応や言動を観察し、基本的ニーズにかかわるセルフケア要素の情報を得ることができる。	●対象者の疾患による症状や障害の程度をみながら現在の困りごとや辛さ、孤独と付き合い、安全を保つ能力にかかわる情報を得ることができる。	●対象者と対象者をとりまく人々から、発達課題、疾患、治療に対する思い、生活上の不自由さ、それらに対する希望について情報を得ることができる。	●対象者や対象者をとりまく人々から希望をひき出し、多職種が有する情報も含め、情報を得ることができる。	●対象者と対象者をとりまく人々の生活について、多角的に情報を得て、整理し、表面化していない真のニーズに関する情報を意図的に得ることができる。
	B2 価値観や信条	●対象者の趣味や好きなこと、大切にしているものや習慣、気がかりや心配などの情報を得て、対象者の価値観や信条を知る手がかりを得ることができる。	●日常のかかわりのなかから、生活習慣や家族背景、病状に関する思い、将来の希望や不安に関する情報を得て、対象者の価値観や信条について理解できる。	●意図的なコミュニケーションにより、対象者の価値観、信念、信条、および生き方についての希望を理解できる。	●対象者の感情表出を促すコミュニケーションを実践し、QOLにかかわる思いを理解し、その思いの実現に向けた対応を見出すことができる。	●対象者の社会面や精神面の課題が多様で、複雑な状況においても、多職種と協働し、対象者のQOLが高められるよう介入することができる。
	B3 アセスメント	●対象者の現在のセルフケアレベルを把握し、セルフケア不足が生じた要因について考えることができる。	●対象者のセルフケア不足の要因を、病気や治療の経過と併せてアセスメントし、疾病や生活への認識を確認しながら日常生活上の留意点や介入の優先順位を判断できる。	●対象者のセルフケア不足の要因を分析し、本人の現状の受け止めや希望を確認したうえで、個々にあった生活についてアセスメントし、介入方法とタイミングを判断することができる。	●セルフケア不足の要因を多角的に分析し、対象者の苦痛と成長発達との関連をアセスメントし、いくつかの介入方法を見出し、介入のタイミングを判断することができる。	●日常生活を営むうえでのセルフケア不足だけでなく健康的な力も見出したうえで、対象者の真のニーズをアセスメントし、先を予測しながら見通しをもって今必要なケアを判断できる。
	B4 精神面のアセスメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者の発言、行動、表情などから、精神症状がどの程度生活に影響しているか、なぜそのような言動になっているのかを考えることができる。</li> <li>●対象者の普段の様子を把握でき、普段と異なる状態があったとき、それに気づいて報告ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●必要性を意識して継続観察を行い、対象者の精神機能の評価に加えて自我機能もアセスメントすることができる。</li> <li>●対象者の精神症状の悪化を身体疾患の要因も含めてアセスメントすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者とかかわりながら精神状態をアセスメントし、対象者と共に、個別的で希望を支えられるようなケアプランを作成できる。また、それらを対象者・家族に説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●複雑なニーズに対応するために、現在の精神状態に影響を与える要因を多角的にアセスメントすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者の回復に影響を与える精神的な要因をアセスメントし、対象者の意思決定や責任を負う機会をつくるなどの充実した看護を展開できる。</li> </ul>
	B5 フィジカルアセスメント	●対象者のバイタルサインを正確に測定・判断し、その他の観察やデータに基づき、正常・異常を判断し、報告できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自立して基本的なフィジカルアセスメントができる。</li> <li>●対象者の観察および検査データなどから、抗精神病薬や精神科治療に伴う身体的な異常も見逃さず、報告ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●抗精神病薬や精神科治療による身体への影響を予測し、的確なフィジカルアセスメントと身体的な看護を行なうことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●フィジカルアセスメントにより、身体的な状態をモニターし、状況や優先度をアセスメントし、チームとして適切に対応することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●フィジカルアセスメントにより、対象者の身体状態の悪化を予測し、切迫した状況下において優先度を判断し、リーダーとしてメンバーを指導しながら適切に対応できる。</li> <li>●精神的、身体的に重篤な症状があっても、根拠を持つ必要な看護ケアを実践できる。</li> </ul>
	B6 看護職の自己洞察・自己活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分が対象者に対して個人的な感情を抱いたときに、他者に相談できる。</li> <li>●対象者とのかかわりや、他者からの指摘・助言を得て、自己の実践を振り返り、できていることとできていないことがわかる。また、できていないことを課題として捉えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者に対する自分の感情反応に気づくことができ、助言を得ながら適切な対応ができる。</li> <li>●自ら自己の実践を振り返り、意味づけたり、他者の助けを借りたり、課題を明確にし、次の実践に活かせる。また、自己の役割についても意識して振り返り、その結果を自己の行動に取り入れることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●看護の実践として自身の感情を適切に表現することができる。</li> <li>●自身の強みや弱みを理解でき、強みを看護に活かすことができる。</li> <li>●自己の実践や役割について、他者を活用して、自己の行動や実践の根拠を確認したり、自己の反応について振り返ることができる。また、その結果を自己の行動変容につなげることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自身のかかわりを自己洞察して、俯瞰的に状況をみる力をつける看護に活かすことができる。</li> <li>●自己の実践の根拠や自己の反応の意味について、自ら他者の意見を求めて振り返ることができる。その結果を言語化して他者と共有しながら、自己の行動変容につなげることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自己理解のうえで自己への信頼を高め、看護に活かすことができる。</li> <li>●日々の実践のなかで起る自己や他者の反応を敏感に、客観的に捉えて振り返り、意味づけ・言語化できる。また、意味づけられた実践をより適切な看護に発展させ、自らがロールモデルとなり行動できる。</li> </ul>
	B7 記録、計画立案	<ul style="list-style-type: none"> <li>●精神面・身体面に関して得た情報を整理し、記録できる。</li> <li>●看護過程の基本をふまえて看護計画の立案ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●看護の経過のなかで把握した情報から、対象者の希望をふまえてアセスメントした内容を記録し、看護計画を立案することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●個別的なニーズにあった目標を対象者と共有し、看護計画を立案することができる。また、情報開示も意識した記録ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現状だけでなく、先を見越した対象のニーズに対応する看護計画を立案し、対象者と共有したうえで看護チームに周知することができる。また、情報開示も意識した記録の指導ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者のニーズと個別性をふまえ、精神症状と付き合ながら過ごせるよう対象者と共に看護計画を立案し、多職種とも共有できる。また、記録類を監査し指導できる。</li> </ul>

到達段階		レベルI	レベルII	レベルIII	レベルIV	レベルV
看護実践能力	項目C 【目標】ケアを行う力	対象者の特徴や意向を意識しながら、安全かつ確実に日常的なケアを実施することができる。	看護計画を意識して必要なケアを実施し、対象者の反応を確認して看護計画の評価および修正ができる。	精神状態や治療を理解し、対象者の個別性に合わせたケアができるか確認し、看護計画を評価・考察し、修正ができる。	対象者の全体像から、提供されているケアを精査し、より質の高いケアを行うロールモデルとして機能できる。	複雑な背景や状況においても、対象者にとっての最善のQOLを見据えてケアの質の管理に取り組むことができる。
	C1 日常生活のケア	●対象者の意向を考慮して、基本的な日常生活援助を安全に実施できる。	●生活拡大を図るために、対象者とともに自立度を確認しながら生活上の課題を把握することができる。 ●試行的介入をしながらケアの方法を探り、根拠に基づいて実施できる。	●個別性のある看護計画にもとづいて、対象者のセルフケア能力を伸ばすことを意識して、対象者の思いや理解度を考慮したケア・指導を実施することができる。 ●評価により効果的だったかかわりを指針として看護を展開できる。	●対象者の生活に関する課題や症状を予測して判断し、対象者の能力に合わせ、適切なケア方法を提案してチームで実施することができる。 ●適切な時期にケアを評価し、援助の意味を考察することができる。 ●他の看護スタッフと意図的にかかわり、看護のロールモデルとなることができる。	●対象者の背景にある複数の問題を多角的に捉え、課題の改善や解決に向けた最適な看護を提供できる。 ●多職種の役割に応じた介入、コーディネートができる。
	C2 精神面のケア	●思考、知覚の障害、意欲低下、不安、希死念慮、怒り、攻撃、暴力、多訴、対人操作、不眠など、精神症状を正しく理解し、対応できる。	●精神症状の要因、患者の言動を精神疾患、自我機能、生活・環境的要因から理解し対応することができる。 ●ケア実施後の対象者の反応から症状の査定とケアの評価を行うことができる。	●対象者の不調や危機的な状況について、その出来事と、そのときの精神症状を整理し、対象者が可能な対応について対象者とともに見出すことができる。	●対象者が自ら精神症状をマネジメントしながら、自分らしい生活にむけて、自分の力や課題、自分の置かれている環境を意識して行動できるようかかわることができる。	●対象者がその人らしい生活を送れるように、また対象者が自分の精神症状や能力を自覚して生活を送れるよう、対象者のパートナーとしてかかわることができる。
	C3 心身両面からのケア	●身体疾患に関する既往歴、現病歴、治療（服薬内容や医療的処置）を理解し、必要な診療の補助ができる。	●精神疾患と身体疾患の関連、病気の経過や治療による影響を考え、病歴や対象者の訴えのみに惑わされず、他の病状も考慮してアセスメントし、対象者の状況をみながらケアすることができる。	●対象者の自覚症状や病気の捉え方について精神・身体の両側面からアセスメントし、療養上の課題を明らかにしてケアにつなげることができる。 ●身体ケアの重要性を理解し、精神面へのアプローチとしての身体ケアも実践することができる。	●身体疾患の状況をアセスメントし、対象の理解度や対処能力も考慮したうえで、対象者とともに課題を明確にしてケアすることができる。 ●心身相関により今後起こりえることを予測して、現状で必要な対応を提案、実施できる。	●身体疾患に関して、対象者をとりまく人々や多職種の協力を得て、身体疾患による精神面への影響を含めアセスメントし、対象者とともに行動計画を立案し、対象者が実施できるように側面的な支援ができる。
	C4 薬物療法にかかわるケア	●定期薬について、作用と副作用を意識して観察・対応できる。 ●頓服薬使用時に対象者の状態像を観察し、報告できる。 ●頓服薬使用後の効果と副作用の有無を観察し、報告できる。	●対象者に処方されている薬が何を目的として処方されているのかを理解し、その目的に合わせて対象者の変化を観察、記録、報告することができる。 ●頓服薬の作用と副作用を理解したうえで、対象者が正しく内服できるよう対応できる。	●定期薬の作用、副作用を意識してモニターし、対象者の生活に合わせた薬物療法の援助ができる。 ●対象者が希望する頓服薬の使用の妥当性を判断し、対象者の個別性に合わせた説明や使用ができる。	●対象者や対象者をとりまく人々の薬に対する思いを確認しながら、対象者が適切に薬物療法を受けられるよう助言や教育ができる。	●対象者の服薬行動に関して服薬を阻害する要因を明らかにし、必要な薬物療法を対象者が納得して継続できるようチームで支援することができる。
	C5 治療プログラムとケア	●グループ療法、服薬心理教育、作業療法、デイケア、訪問看護、断酒会等に参加し、それぞれの特徴や意味について理解できる。	●対象者にとって治療プログラムがどのような意味を持つのか考えながら、一緒に参加することができる。	●対象者の治療プログラム参加状況から、生活機能や障害の程度を確認し、個々の生活を考慮したケアにつなげることができる。	●対象者が治療プログラムの意味を理解し、主体的に参加できるようにかかわることができる。	●治療プログラムを通して機能回復を支援し、回復段階に合った社会参加に向け、対象者および地域社会に働きかけることができる。
	C6 緊急性の高い状況に対応する力	●対象者や他者の安全が保てない状況や緊急性のある状況を発見した場合、ただちにリーダーに報告し、指示にしたがって行動できる。	●緊急性のある状態を発見した場合、何が起きているか判断して応援を呼び、自立して対応できる。	●緊急性のある事態が起こった際に、メンバーを指導しながら対応できる。	●緊急性のある事態が予測された際に、未然にそれを防ぐよう対応する。また、緊急事態には、メンバーを指導しながら対応できる。	●不測の事態にもメンバーを指導しながら対応でき、客観的に状況を把握して、多職種チームの采配ができる。
	C7 行動制限のケア	●精神保健福祉法を理解し、行動制限のマニュアル等を活用しながら、対象者の尊厳を損なわずに、安全な看護を実践できる。	●対象者の行動制限において責任をもって安全な看護ができる。また、行動制限を最小限にするための、よりよい看護についても意図的に実施できる。	●対象者の行動制限の目的と方法が適切であるか、対象者の保護と治療の視点から考え、必要な情報提供および対応の提案ができる。	●行動制限や処遇の適切性を、法や倫理などの視点で査定できる。 ●行動制限や処遇について、対象者を擁護する視点に立って多職種とディスカッションをしながら変更の提案ができる。	●行動制限最小化に向けてチームの考えを統合し方向性を見据えて、対象者をとりまく人々と連携し、調整や交渉により、現状を開ける。
	C8 家族看護	●対象者の家族構成や形態、家族員の健康状態や対象者との関係について把握できる。	●対象者の家族内での役割や家族内の勢力関係、コミュニケーションの特徴等を把握し、どのような葛藤を抱えているのかをアセスメントできる。	●対象者や家族と一緒に過ごしながら、家族関係のパターンや交流の仕方を把握し、各々の思いを率直に表出できるようかかわることができる。	●複雑な状況下にある家族をアセスメントすることができる。また、家族個々の健康レベルの維持・向上や家族関係の改善に向けた目標をたて、根気強く介入することができる。	●多職種と協働しながら対象者を含めた家族の機能をアセスメントし、望ましい方向性をともに考え、家族のレジエンス機能を強化できるようにかかわることができる。
	C9 説明責任を果たす	●行おうとするケアについて、対象者が理解できるように説明する必要性を理解できる。	●行うケアや行われている治療について、対象者が理解できるよう、自分の言葉で説明することができる。	●対象者や家族の思いを受け止めながら、相手に合わせた理解しやすい方法で必要な情報を提供することができる。	●対象者らの希望に添えないときでも誠実に対応し、必要な情報の開示と説明を行い、対象者の理解を確認しながら対応できる。	●対象者らが説明内容を理解・納得したうえで内容に合意または拒否する自主性を尊重して対応できる。
項目D 【目標】協働していく力		対象者にどの職種がかかわっているかを知り、それぞれの職種の役割を理解し、看護職の役割を考えることができる。	対象者に必要な職種を特定し、必要な情報を共有する際に、看護職としての意見を述べることができる。	対象者を中心に、家族や多職種とタイミングよく連携することができる。	多職種で目標を共有し、役割分担をして協働できるよう主体的にかかわることができる。	複雑なニーズや社会の動向に対応し、多職種連携がスムーズに行えるよう、自律的に判断し、調整できる。
D1 チーム医療の推進	チーム医療の推進	●看護職の役割を理解し、看護職が得るべき情報とは何かを考え、対象者から情報を得ることができる。 ●多職種とのコミュニケーションを通して、対象者にかかわる職種の役割を知り、看護職の役割を考えることができる。	●看護職として連携に必要な情報を明確にし、対象者から得た情報を発信することができる。 ●多職種が得た情報を自主的に収集し、関係者らとコミュニケーションを図ることができる。 ●多職種の多様な価値観や役割を理解し、各々の方針を確認することができる。	●対象者や対象者をとりまく人々から、看護職が得た個別的な情報を多職種に提供することができる。 ●どのような職種と連携を図ればよいかを判断し、必要なタイミングを見極めて、対象者を中心にして多職種で話し合う機会を作り、自ら参加して発言することができる。	●対象者やその周囲の状況を広い視野でとらえ、今後起こりえる結果を予測しながら、多職種連携の必要性を判断し、主体的に連携できる。 ●対象者固有の思いや希望を対象者自らが語れるようサポートし、多職種と共有することができる。 ●円滑にサポート体制が整うようにロールモデルとなって調整できる。	●複雑な病状や状況においても対象者の思いを捉えて、QOLを意識したサポート体制を多職種とともにづくり上げることができる。 ●多職種連携がスムーズに行われるよう、自律的な判断のもと、積極的に、調整役を担うことができる。 ●精神科医療に関する情報を得て、現場の課題と照らし合わせて、多職種と話し合い、より良い医療提供体制の構築に取り組むことができる。

到達段階		レベルI	レベルII	レベルIII	レベルIV	レベルV
看護実践能力	項目E 【目標】意思決定を支援する力	対象者や対象者をとりまく人々の意向を把握することができる。	対象者や対象者をとりまく人々の意向を、看護に反映させることができる。	対象者や対象者をとりまく人々の意思決定に必要な情報を提供したり、話し合うための場の設定、意思表出をサポートすることができる。	対象者や対象者をとりまく人々の意思形成を助け、意思決定に伴って生じる揺らぎを共有しながら、対象者の意思を尊重した対応ができる。	複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる。
	E1 意思決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者や対象者をとりまく人々の思いや考え、希望を知ることができる。</li> <li>●対象者自身の言葉で語ってもらうことの意味に気づき、思いをきけるように工夫してかかわることができる。</li> <li>●対象者や家族の思いや考え、希望を、看護チームで共有することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●意図的に、対象者や対象者をとりまく人々の思いや考え、希望を確認し、その背景や理由についてもきくことができる。</li> <li>●対象者や対象者をとりまく人々の思いや考え、希望が実現できるように看護計画を立てケアに取り入れることができる。</li> <li>●対象者や家族の認識と医療者の認識のずれに気づき、それを修正していくよう、話し合う機会を設けることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者と対象者をとりまく人々が大切にしていることを理解し、両者の意向が異なる場合でも、それぞれの思いや価値観に寄り添って、その人らしい決定を下し、それを表出できるようにかかわることができる。</li> <li>●対象者にかかる複数の職種の意見や考えをきく機会を提供できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者や対象者をとりまく人々が意思決定しやすいように、訴えの真意を汲み取る姿勢をもち、意思が二転三転したとしても、対象者の意思をつくり上げていくためのかかわりを続けることができる。</li> <li>●対象者の今の気持ちを引き出しながら、意思を決定し、それを率直に表出できるよう、チームで支援することができる。</li> <li>●対象者の意思を尊重し、多職種を巻き込んで、納得のいく結論が出せるようかわることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者の背景にある揺れ動く気持ちや不安を理解して、その人らしい意思決定ができ、QOLを高めるかかわりができる。</li> <li>●対象者が意思決定できるように適切な資源を積極的に活用して多職種チームで支援することができる。</li> <li>●対象者と周囲の意見が対立するような場合においても、多職種チームで対象者にかかわり続け、前向きに建設的に意思決定ができるよう調整することができる。</li> </ul>
自己教育・研究能力	項目F 【目標】看護力を獲得・維持・開発する力	教わる者としての姿勢や態度を考え、積極的に学ぶことができる。	経験をふまえた指導的役割を通して自らも学ぶことができる。	広い視野で必要な知識、より専門的な知識の獲得・追究に向けた行動ができる、メンバーに対して教育的なかかわりができる。	自己研鑽でき、教育・研究活動にも自ら取り組むことができる。教育活動について、指導的な役割を実践することができる。	精神科領域にかかわる高度な看護について自己の教育活動を展開ができる。組織的研究活動を実践できる。
	F1 教育・指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>●他者に相談しながら、所属している部署に特徴的な知識や技術を主体的に学習できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●疾患や治療の理解を深め、看護に活かせるよう主体的に学習できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実践で感じたさまざまな疑問を放置せず、それを解消するための学習ができる。</li> <li>●看護実践におけるモデルとなり、新人やメンバーへの日々の指導、および看護学生の実習指導ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●所属部署の教育を担当し、学習内容の検討、学習機会の企画・実施をおこなうことができる。</li> <li>●長期的視野に立ってメンバーの教育・指導ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●組織の看護教育計画にそった、人材育成ができる。</li> </ul>
組織的役割遂行能力	F2 自己啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自己の実践に必要な事柄について学習方法が理解でき、自ら進んで学習できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●明らかになった自己の課題の解決を意識して、その解決に向けて積極的に学習を進めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●これまでの実践や現在の役割から、必要な知識やスキルを自ら見出し、学習計画を立てて取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●これまでの実践や現在の役割を明確にし、意欲的かつ継続的に学習を進めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●これまでの実践や現在の役割に必要な知識や技術を高めるために、新しい知見を得たり、積極的に外部と交流できる。</li> </ul>
	F3 研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自己の看護実践の疑問や問題意識をもち、振り返ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●指導を受けながら、看護研究に参加することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●部署における看護研究に取り組むことができ、組織で発表できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自己の疑問から看護研究に取り組むことができ、組織内外で発表ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●メンバーの看護研究をサポートし、自らも積極的に看護研究発表ができる。</li> </ul>
組織的役割遂行能力	項目G 【目標】業務を管理する力	組織のメンバーとして日々の業務を遂行できる。	所属する部署の自己の役割を理解し、自ら考えて行動することができる。	所属する部署・組織におけるリーダー的存在として、創造力を要求される役割を遂行できる。	所属する部署・組織で看護の質にかかわる管理責任の一部を担い、専門的な能力を必要とする指導的な役割を遂行することができる。	所属する部署・組織の看護の質にかかわる責任を担う者としての役割を遂行することができる。
	G1 役割認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>●組織の一員であることを理解し、自分の行動を決めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●所属する部署でその日の自己の役割を遂行できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●所属する部署の自己の役割を理解し、メンバーに影響を与えるながら看護の質や効率を考えて行動することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●所属する部署のみでなく、看護の組織全体における自己の役割を理解し、創造的に行動することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●組織における自己の役割を理解し、自ら考えて発展的に行動することができる。</li> </ul>
	G2 物品管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>●物品を安全に、正確に使用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●物品を安全に、正確に取り扱うことができ、故障や不具合があった際に対処できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●安全で正しい物品管理と補充に関して、メンバーへの指導ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●部署内の物品を、安全性、効率性、適切性を考えて管理できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●経営的視点と、対象者へのよりよい看護の提供を考えた物品管理ができる。</li> </ul>
	G3 情報管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>●守秘義務や個人情報保護に関する規則を理解し、守ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●守秘義務や個人情報保護を意識して、正しく情報を扱うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●守秘義務や個人情報保護のリスクを考え、事故防止にむけた行動ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●守秘義務や個人情報保護に関する規則、情報管理に関し、メンバーを指導することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●情報管理を理解し、そのリスクをふまえながら組織として安全かつ効率的・効果的に情報を扱うことができる。</li> </ul>
	G4 時間管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本的な時間管理ができ、看護の優先順位を意識した行動ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●看護の優先順位と効率を考えて、行動することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●チームで協力して円滑に看護が進められるように支援することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●看護の質を維持しながら生産性と効率性を考え業務改善に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●看護の質および部署の状況を判断し、柔軟に業務改善を推進することができる。</li> </ul>
	G5 医療安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者の症状および治療による影響を考慮し、他者に相談しながら事故が起こらないよう意識して対応できる。</li> <li>●インシデント・アクシデントを確実に報告でき、自分なりに原因を分析できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リーダーとしてルールを優先するだけでなく、対象者の個別性にあった安全な環境調整ができる。</li> <li>●報告したインシデント・アクシデントの結果から、改善策を考え、チームと共有できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヒューマンエラーの認識をもち、日常の看護のなかで注意深く対象者や環境を観察し、リスクが最小限になるように対応できる。</li> <li>●看護チームで起きたインシデント・アクシデントの再発防止策をカンファレンスで話し合い、メンバーと共有し実践することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者の症状や行動の変化から看護職として注意すべきことを考え、チームで安全に配慮した対応にあたることができるようリーダーシップを発揮できる。</li> <li>●インシデント・アクシデントが起きる前から危険を予測し、改善案を提案してチームで行動できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●チーム全体で安全な看護ができるようにチームのバランスを調整することができる。</li> <li>●日常のさまざまな場で事故を未然に防げるようスタッフへ教育的にかかわることができる。</li> <li>●リスクマネジメントの推進者として、組織全体の安全管理について考え、より安全で事故を起こさない仕組みづくりに貢献できる。</li> </ul>
	G6 感染管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>●標準予防策を理解し実施できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●標準予防策を理解し、根拠ある行動をとることができ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●感染管理の視点で対象者の環境を整えられるよう、スタッフに対して指導できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●感染管理に関して、スタッフだけでなく、対象者が自身で感染予防策を実施できるようかわることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●組織内で問題となる感染を把握し、衛生的な環境を維持できるよう、組織的に対策を講じることができる。また感染発生時に拡大を防ぐための感染対策を実施できる。</li> </ul>

# 2026年度(令和8年度)研修会一覧

▶お申し込みは2026年3月2日(月)10時より「manaaable(マナブル)」で(p3参照)

## 開催方法に関する表記

VOD = オンデマンド研修 ライブ配信 = オンライン研修 (Zoom使用)

東京 = 集合研修 / 東京研修会場 (品川駅)

兵庫 = 集合研修 / 一般財団法人仁明会精神衛生研究所 (西宮駅)

※集合研修やオンライン研修はそれぞれ定員があります(お申し込みが定員に達した時点で締切となります)。詳細は「manaaable(マナブル)」でご確認ください。

## 研修会一覧に記載されているマーク

新 新しく企画した研修

UP 2025年度の内容をアップデートしたもの

重 2026年度の日精看の教育事業における重点項目

※マークのないオンデマンド研修会は、2025年度と同じ内容の再配信です。

※マークのない集合研修会は、2025年度と同じねらい・内容にもとづき開催します。

## 継続学習にかかる研修会

分類	No.	2026年4月～2027年3月		研修会名	ねらい	ラダー					会員受講料 (非会員受講料) 税込価格	
		開催方法 (時間数)	開催日/ 配信期間			項目	I	II	III	IV	V	
歴史・法律	1	VOD (90分)	5/13(水)～ 3/5(金)	精神科医療の歴史	精神科医療の歴史と諸外国の精神医療改革を参考に、現在の精神保健医療福祉に求められていることを考える	A	●	●				2,530円 (5,060円)
	2	VOD (90分)	5/13(水)～ 3/5(金)		患者の権を尊重し、安全で安心な精神科医療・看護が提供できるよう、精神保健福祉法を正しく理解する。2024年施行内容についても学ぶ	A	●	●				2,530円 (5,060円)
	3	VOD (60分)	5/13(水)～ 3/5(金)		守秘義務と個人情報保護法について学び、安心で安全な医療・看護の提供につなげる	G	●	●	●	●	●	1,650円 (3,300円)
コラボレーション	4	VOD (60分)	5/13(水)～ 3/5(金)	精神科看護職に求められるコンプライアンス	精神科看護職としてコンプライアンス(法令遵守)を推進できるよう、精神保健福祉法をはじめとした関連法令等を学び、社会規範の尊重と高い倫理観をもった看護実践をめざす	A	●	●	●	●	●	1,650円 (3,300円)
	5	VOD (120分)	5/13(水)～ 3/5(金)		精神科看護職の倫理綱領の理解を深める。「精神科看護職の倫理綱領とモヤモヤMEMO」の使い方を理解し活用できる	A	●	●	●	●	●	3,300円 (6,600円)
	6	VOD (120分)	5/13(水)～ 3/5(金)		精神科看護に必要な心構えと態度・倫理の基礎知識	A	●					3,300円 (6,600円)
対人関係・コミュニケーション	7	VOD (180分)	5/13(水)～ 3/5(金)	精神科における共同意思決定と支援方法	精神障がい者との共同意思決定の過程と支援方法を学ぶ	E		●	●	●		4,950円 (9,900円)
	8	VOD (90分)	5/13(水)～ 3/5(金)		精神科看護に必要なコミュニケーションスキルの知識	A	●	●				2,530円 (5,060円)
	9	VOD (90分)	5/13(水)～ 3/5(金)		プロセスレコードの基本と実践での活用方法	A	●	●	●			2,530円 (5,060円)
看護過程・理論	10	東京	10/3(土)	対人関係における自己活用	精神科看護において自己活用ができるよう対人関係の基礎(リフレクション、関係のプロセス、転移、逆転移、直面化、抵抗、自己分析、自己理解、交流分析など)を学ぶ	A	●	●	●	●		9,900円 (19,800円)
	11	東京	6/13(土)		自己表現が楽になるアーサーション入門	A	●	●	●	●		9,900円 (19,800円)
	12	東京	6/14(日)		援助者が自身の感情をマネジメントする方法(アンガーマネジメント)	A	●	●	●	●		9,900円 (19,800円)
看護過程・理論	13	東京	7/4(土)	トラウマ・インフォームドケアの基本と実践	トラウマ・インフォームドケアの基本的な考え方と実践での活用を学び、日々のケアに活かす	B	●	●	●	●		9,900円 (19,800円)
	14	VOD (90分)	5/13(水)～ 3/5(金)		ナラティブ・アプローチの基本	A	●	●	●			2,530円 (5,060円)
	15	東京	10/24(土)		対話で患者を支えるオープンダイアローグ	A	●	●	●			9,900円 (19,800円)
看護過程・理論	16	VOD (120分)	5/13(水)～ 3/5(金)	対象理解とニーズの把握につなげる観察と記録	フィンランドで実践されている統合失調症患者を対象とした治療的介入方法であるオープンダイアローグの特徴、理論的背景、手法を学ぶ	B	●	●	●	●	●	3,300円 (6,600円)
	17	VOD (90分)	5/13(水)～ 3/5(金)		基礎から学ぶ看護過程	B	●	●	●	●	●	2,530円 (5,060円)

分類	No.	2026年4月～2027年3月		研修会名	ねらい	ラダー					会員受講料 (非会員受講料) 税込価格	
		開催方法 (時間数)	開催日/ 配信期間			項目	I	II	III	IV	V	
看護過程・理論	18	VOD (90分)	5/13(水)～ 3/5(金)	精神科における看護過程の展開	精神疾患をもつ人を理解し、看護介入の必要性の判断と実施、評価のポイントを学び看護過程の基本を理解する	B	●	●	●	●	●	2,530円 (5,060円)
看護過程・理論	19	VOD (180分)	5/13(水)～ 3/5(金)	セルフケア看護モデルとその活用	セルフケア理論の概要を理解し、セルフケア理論を用いた対象理解、患者のセルフケアレベルに応じた看護を考える	B	●	●	●	●	●	4,950円 (9,900円)
看護過程・理論	20	VOD (90分)	5/13(水)～ 3/5(金)	メンタル・ステータス・イグザミネーションの基礎知識	精神機能と精神症状を査定する方法を理解し、精神症状の生活への影響をアセスメントしてケアにつなげる	B	●	●	●	●	●	2,530円 (5,060円)
看護過程・理論	21	VOD (90分)	5/13(水)～ 3/5(金)	ストレングスモデルを活用した精神科の看護過程	ストレングスモデルの概要を理解し、看護過程の展開においてストレングスモデルを活用することができる	B	●	●	●	●	●	2,530円 (5,060円)
看護過程・理論	22	VOD (90分)	5/13(水)～ 3/5(金)	重 医療者と患者が対等なパートナーとしてかかわるコプロダクション型精神看護過程	コプロダクションの基本を理解し、コプロダクション型精神看護過程の実践につなげる	D						2,530円 (5,060円)
看護過程・理論	23	VOD (120分)	5/13(水)～ 3/5(金)	精神発達論を対象理解に活かす	精神発達論の基礎を学び、対象者の生育歴情報を収集する目的やアセスメントのポイントをおさえ、対象理解に活かす	B	●	●	●	●	●	3,300円 (6,600円)
看護過程・理論	24	東京	9/10(木)	精神力動論を対象理解に活かす	精神力動論の基礎知識を学び、事例を通して対象者のこころの動きや行動の意味について理解を深める	C	●	●	●	●	●	9,900円 (19,800円)
看護過程・理論	25	VOD (90分)	5/13(水)～ 3/5(金)	アセスメントやケアにつなげる精神機能の分類と障害	精神機能を正しく理解し、的確な情報収集と記録、アセスメント、ケアにつなげる	B	●	●				2,530円 (5,060円)
看護過程・理論	26	VOD (90分)	5/13(水)～ 3/5(金)	GAFの評価のポイントとアセスメント	GAF尺度の概要と評価のポイントを理解し実践に活用する(※2020年度以前に精神科訪問看護基本療養費の算定要件研修を受講されている方で、地域の厚生局からGAFに関する研修会の受講を求められている方にもご活用いただけます)	B	●	●	●	●	●	2,530円 (5,060円)
看護過程・理論	27	東京	7/3(金)	脳の構造・機能の理解とケア	脳の構造・機能をふまえて統合失調症や認知症の精神症状をアセスメントし、根拠に基づいたケアの提供につなげる	C	●	●				9,900円 (19,800円)
看護過程・理論	27	兵庫	10/16(金)	脳の構造・機能の理解とケア	脳の構造・機能をふまえて統合失調症や認知症の精神症状をアセスメントし、根拠に基づいたケアの提供につなげる	B	●	●				9,900円 (19,800円)
看護過程・理論	28	ライブ配信 (5時間)	9/11(金)	脳を知るとケアが変わる～科学的根拠に基づく看護判断の新しい形～	患者の「できない」という状態を、脳の変化から「できない理由」をアセスメントし、患者の「できる」を支えるケアへつなげる。そして、精神科におけるEBN(エビデンスに基づく看護)の実践を検討する	B	●	●	●	●	●	9,900円 (19,800円)
看護過程・理論	29	VOD (120分)	5/13(水)～ 3/5(金)	統合失調症の理解とケア	統合失調症の病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解に基づいた看護ができる	C	●	●				3,300円 (6,600円)
看護過程・理論	30	VOD (120分)	5/13(水)～ 3/5(金)	気分障害の理解とケア	気分障害の病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解に基づいた看護ができる	B	●	●				3,300円 (6,600円)
看護過程・理論	31	VOD (120分)	5/13(水)～ 3/5(金)	発達障害の理解とケア	発達障害の病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解に基づいた看護ができる	C	●	●				3,300円 (6,600円)
看護過程・理論	32	VOD (120分)	5/13(水)～ 3/5(金)	パーソナリティ障害の理解とケア	パーソナリティ障害の病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解に基づいた看護ができる	B	●	●				3,300円 (6,600円)
看護過程・理論	33	VOD (120分)	5/13(水)～ 3/5(金)	摂食障害の理解とケア	摂食障害の病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解に基づいた看護ができる	C	●	●				3,300円 (6,600円)
看護過程・理論	34	VOD (120分)	5/13(水)～ 3/5(金)	アディクションの理解とケア	アディクションの病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解に基づいた看護ができる	B	●	●				3,300円 (6,600円)
看護過程・理論	35	VOD (120分)	5/13(水)～ 3/5(金)	認知症の理解とカンフォータブルケア	認知症の病態、診断、治療、カンフォータブルケアを学び、原因疾患の特徴に基づいた適切なケア提供につなげる	C	●</					

分類	No.	2026年4月～2027年3月		研修会名	ねらい	ラダー					会員受講料 (非会員受講料) 税込価格	
		開催方法 (時間数)	開催日/配信期間			項目	I	II	III	IV	V	
精神科治療・専門療法	39	VOD (90分)	5/13(水)～3/5(金)	向精神薬の基礎知識	向精神薬の基礎知識を学び、薬物療法を受ける患者の支援ができる	B	●	●	●	●	●	2,530円 (5,060円)
	40	兵庫 新	6/6(土)	看護師が知っておくべき精神科薬物療法	精神科看護師として薬物療法の有効性と限界、副作用の知識を深め、アセスメントや具体的なケアにつなげることをめざす	C	●	●	●	●	●	9,900円 (19,800円)
	41	VOD (90分)	5/13(水)～3/5(金)	精神科薬物療法を受ける患者の看護	患者の生活に合わせた薬物療法の支援を行うためのケアの視点やケアの工夫を学ぶ	B		●	●	●	●	2,530円 (5,060円)
	42	VOD (90分)	5/13(水)～3/5(金)	精神療法の基本	精神療法の基本を理解し、チーム医療、看護ケアにつなげる	C	●	●	●	●	●	2,530円 (5,060円)
	43	VOD (90分)	5/13(水)～3/5(金)	作業療法の基本	作業療法の基本を理解し、チーム医療、看護ケアにつなげる	C	●	●	●	●	●	2,530円 (5,060円)
	44	VOD (90分)	5/13(水)～3/5(金)	精神科医療・看護におけるグループアプローチ	精神科医療・看護の場面で行われているグループアプローチの基本を学び、グループアプローチを行うことの意味と看護職としての視点を理解し、ケアにつなげる	C	●	●	●	●	●	2,530円 (5,060円)
	45	VOD (90分)	5/13(水)～3/5(金)	ケアにつなげる心理教育の基本と活用	精神科医療・看護の場面で行われている心理教育(疾病教育・服薬心理教育)を知り、心理教育を行うことの意味と看護職としての視点を理解し、ケアにつなげる	C	●	●	●	●	●	2,530円 (5,060円)
	46	VOD (90分)	5/13(水)～3/5(金)	アルコール依存症リハビリテーションプログラム(APR)	ARPの目的と実践、看護職の役割を理解し、看護ケアにつなげる	C	●	●	●	●	●	2,530円 (5,060円)
	47	東京 新	10/23(金)	社会生活スキルトレーニング(SST)の基本的知識と看護への活用	SSTの基本的な考え方と実践を学び、対象者の生活支援につなげる	C	●	●	●	●	●	9,900円 (19,800円)
身体ケア・日常生活支援	48	東京 新	8/2(日)	認知行動療法(CBT)の実際～認知行動療法を日常臨床でどのように活かすか～	短時間で行う「簡易型認知行動療法」の考え方を学び、日常臨床に活かすことができる	C	●	●	●	●	●	9,900円 (19,800円)
	49	東京 新	6/20(土)	フィジカルアセスメント・フィジカルイグザミネーション(基本編)	フィジカルアセスメント、フィジカルイグザミネーションの基本を学び、身体症状の観察とケアの実践につなげる	B	●	●	●	●	●	9,900円 (19,800円)
	50	東京 新	6/21(日)	フィジカルアセスメント・フィジカルイグザミネーション(精神科身体合併症編)	精神科で多く遭遇する肺炎、イレウス、肺塞栓症、電解質異常、けいれんなどを中心に身体評価の知識と技術を学び身体合併症の予防と早期発見につなげる	B	●	●	●	●	●	9,900円 (19,800円)
	51	VOD (90分)	5/13(水)～3/5(金)	精神科における身体合併症看護	身体と精神のつながり、精神科で起こりやすい身体合併症を理解し、精神疾患と身体疾患をあわせもつ対象者の看護実践につなげる	B	●	●	●	●	●	2,530円 (5,060円)
	52	東京 + ライブ配信	8/29(土)～9/9(水) + ライブ配信	実践しよう！摂食・嚥下の基本とケア	摂食・嚥下のメカニズムを理解し、摂食・嚥下障害のある患者のケアを学ぶ。また精神科での実践やチームでの取組みについて学び自施設でのケアに活かすことができる	B	●	●	●	●	●	14,850円 (29,700円)
	53	東京 新	8/27(木)～8/28(金) ※2日間	排泄ケアとスキントラブルの予防	排便コントロールや排尿ケアなど、排泄の基本を学ぶ。褥瘡やスキンテア(皮膚裂傷)、失禁によるスキントラブルの予防とケア、フットケアについて実践を通して学ぶ	B	●	●	●	●	●	19,800円 (39,600円)
	54	VOD (90分)	5/13(水)～3/5(金)	看護に活かすストレスマネジメント	ストレスの定義、ストレスのメカニズム、ストレスによる心身への影響、ストレスマネジメントの方法を学ぶ	C	●	●	●	●	●	2,530円 (5,060円)
	55	VOD (90分)	5/13(水)～3/5(金)	急変時の情報伝達に役立つSBAR	SBAR(状況・背景・評価・提案)の概要、身体面の急変時における、医師、リーダーへの的確な報告、医療安全などSBARが活用できる場面を学ぶ	B	●	●	●	●	●	2,530円 (5,060円)
	56	東京 + ライブ配信	10/10(土)～10/12(月) 集合11/6(金) + ライブ配信	重包括的暴力防止プログラム(CVPPP)トレーナー養成研修会	CVPPPの理念を理解し、技術を習得することで、危機的状況(クライシス)における攻撃的な場面での適切なケアの提供につなげる。さらに、CVPPPの知識と技術を実践に活かし、当事者の安全と尊厳を守る支援を行うことをめざす	C		●	●	●	●	45,500円 (91,000円)
行動制限最小化	57	VOD (90分)	5/13(水)～3/5(金)	精神科におけるクライシス・インバーベンション～危機の理解と介入の基本～	危機を理解し、対象者の状況に合わせた危機介入につなげる	C		●	●	●	●	2,530円 (5,060円)
	58	VOD (90分)	5/13(水)～3/5(金)	重行動制限最小化看護の基礎知識と看護の実際	行動制限に関する法律を正しく理解し、行動制限最小化に向けた観察の視点とアセスメント、ケアのポイントを学ぶ	C	●	●	●	●	●	2,530円 (5,060円)
	59	ライブ配信 (5時間)	7/17(金)	重身体的拘束に頼らない認知症看護	原因疾患の病態・特性をふまえた対応や認知症と非認知症の区別、非薬物療法を優先した周辺症状改善のケアを学び、不適切なケア(スピーチ・ロッカやドラック・ロックなど)を避け、身体的拘束に頼らない看護をめざす	C	●	●	●	●	●	9,900円 (19,800円)

分類	No.	2026年4月～2027年3月		研修会名	ねらい	ラダー					会員受講料 (非会員受講料) 税込価格	
		開催方法 (時間数)	開催日/配信期間			項目	I	II	III	IV	V	
地域包括ケアシステム	60	東京 新	9/3(木)	重組織やチームで取り組む行動制限最小化	リカバリーやトラウマ・インフォームドケアの視点をもち行動制限最小化をめざす取り組みの実際を学び、所属施設での行動制限最小化にむけたチームづくりやケアに活かすことができる	C	●	●	●	●	●	9,900円 (19,800円)
	61	VOD (90分)	5/13(水)～3/5(金)	重地域生活を支える社会資源の活用と連携	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの概念を理解し、退院支援に必要なアセスメント、地域生活を支える社会資源、看看連携、多職種、他機関との連携を学ぶ	D	●	●	●	●	●	2,530円 (5,060円)
	62	VOD (90分)	5/13(水)～3/5(金)	重リカバリーの基礎知識と実践	リカバリーの概念と考え方を学び、精神障がい者の回復過程への支援につなげる	B	●	●	●	●	●	2,530円 (5,060円)
	63	VOD (90分)	5/13(水)～3/5(金)	重クライシス・プランの基礎知識	対象者の目標やリカバリーの支援にむけ、対象者と関係者が協働しながらクライシス・プランを作成・活用できるよう、クライシス・プランの基礎知識を学ぶ	C	●	●	●	●	●	2,530円 ※会員限定
	64	VOD (90分)	5/13(水)～3/5(金)	家族看護の基礎知識～精神科看護領域の家族看護～	家族システム理論や家族発達理論の基本を学び、家族の理解を深め、精神疾患をもつ患者の家族支援について考える	C	●	●	●	●	●	2,530円 (5,060円)
	65	VOD (120分)	5/13(水)～3/5(金)	チーム医療の役割を果たすためのメンバーシップとリーダーシップ	組織に属すことの意味を理解し、組織やチームにおけるメンバーシップとリーダーシップについて学び、組織における自身の役割を考えることができる	G	●	●	●	●	●	3,300円 (6,600円)
	66	VOD (90分)	5/13(水)～3/5(金)	重チーム医療の推進	医療チームにおける専門職がそれぞれの力を発揮できるように他職種の専門性を理解し、看護の役割を考え、質の高いチーム医療の実践につなげることができる	D	●	●	●	●	●	2,530円 (5,060円)
	67	東京 新	9/4(金)	有効な看護チームをつくるためのファシリテーション	ファシリテーションに必要となるブロッキングやリフレクティング、ファシリテーションの留意点を理解し、看護チームの有効性を高める	G	●	●	●	●	●	9,900円 (19,800円)
	68	VOD (60分)	5/13(水)～3/5(金)	重精神科訪問看護に必要な視点	精神科訪問看護の初心者に必要な精神科訪問看護の視点と医学モデル、生活モデル双方の視点を活用した看護について理解する	B	●	●	●	●	●	1,650円 (3,300円)
訪問看護	69	VOD (60分)	5/13(水)～3/5(金)	重精神科訪問看護にかかる医療制度と福祉制度	医療制度と福祉制度の活用方法を理解し、利用者の生活の幅を広げることができる	C	●	●	●	●	●	1,650円 (3,300円)
	70	VOD (60分)	5/13(水)～3/5(金)	重精神科訪問看護における連携の必要性	看看連携、関係機関、行政、地域の事業所などとの連携の必要性を理解し、利用者が主体となる精神科訪問看護が実施できる	D	●	●	●	●	●	1,650円 (3,300円)
	71	VOD (60分)	5/13(水)～3/5(金)	重精神科訪問看護の実際	精神科訪問看護の対象となる事例を通して精神科訪問看護の実際を学ぶ	B	●	●	●	●	●	1,650円 (3,300円)
	72	VOD (90分)	5/13(水)～3/5(金)	事例のまとめ方	看護サマリー、事例検討、事例研究など、事例をまとめることの意義を理解し、事例をまとめることによって得られる「気づき」から看護実践力を高める	F	●	●	●	●	●	2,530円 (5,060円)
	73	東京 新	7/5(日)	事例検討会ファシリテーター養成研修会	集団精神療法の要素やリフレクティングプロセスを用いて事例検討の深化を体験し、事例検討会を運営するためのファシリテーターとしての実践力を高める。また、事例検討を現場で活用(定着)する方法を考える(※事例検討会の参加経験が5回以上あることが望ましい)	F	●	●	●	●	●	9,900円 (19,800円)
事例検討	74	ハイブリッド ライブ配信 + 東京	①8/30(日) ②9/20(日) ③10/25(日) ④11/15(日) ⑤12/13(日) ⑥1/17(日)	気づきを活かす事例検討会6回シリーズ	事例検討を通して現場の経験を分かち合うとともに、看護の感性を磨く。他施設の看護職とともに学び自身の変化を実感しながら日々の看護につなげる	A F	●	●	●	●	●	9,900円 (19,800円)
	75	VOD (180分)	5/13(水)～3/5(金)	基礎から学								

## トピックス研修

2026年度新企画!臨床で役立つ内容を3時間のライブ配信研修で受講できます。関心のあるテーマについてぜひご受講ください

No.	2026年4月～2027年3月 開催方法 (時間数)	研修会名	ねらい	会員受講料 (非会員受講料) 税込価格
79	ライブ配信 (3時間)	新 5/20(水) 睡眠の基本とケア	睡眠・覚醒障害の基礎知識や精神疾患と睡眠との関連について学び、根拠に基づいたケアができる	4,950円 (9,900円)
80	ライブ配信 (3時間)	新 6/12(金) 認知症ケアにおけるACPの基本と実践	ACPの基本を学び、認知症ケアにおける意思決定支援の在り方を考えることができる	4,950円 (9,900円)
81	ライブ配信 (3時間)	新 7/22(水) 産前・産後のメンタルヘルス	産前産後のメンタルヘルスの基礎知識を学び、その支援や多職種連携の必要性を考え、実践に活かすことができる	4,950円 (9,900円)
82	ライブ配信 (3時間)	新 9/16(水) 性の多様性とメンタルヘルス	性の多様性とメンタルヘルスの関連を学び、支援について考えることができる	4,950円 (9,900円)
83	ライブ配信 (3時間)	新 10/14(水) 精神科訪問看護における子どもへの支援	精神科訪問看護における子どもとその家族等への支援や多職種との連携について学び、日々の看護実践に活かすことができる	4,950円 (9,900円)

## 看護管理にかかる研修会

No.	2026年4月～2027年3月 開催方法 (時間数)	研修会名	ねらい	会員受講料 (非会員受講料) 税込価格
84	VOD (180分)	重 UP 中堅ナースに必要な診療報酬の基礎知識	診療報酬の仕組みについて理解し、政策提言の方法や経営的戦略を担保するための中堅ナースとしての役割を学ぶ(※令和8年度診療報酬改定の内容を含む)	4,950円 (9,900円)
85	VOD (90分)	看護師に役立つビジネスコミュニケーション	自分の考えや伝えたいことを論理的に表現する力を身につけ、日々の業務連絡や多職種連携に活かす	2,530円 (5,060円)
86	VOD (90分)	重 病院組織で取り組む行動制限最小化	行動制限最小化看護の実践に向けた看護管理者の役割を考え、行動制限最小化委員会やSix Core Strategiesなど組織全体で取り組むことを学ぶ	2,530円 (5,060円)
87	VOD (180分)	人材の育成と活用	すぐれた人材を育成するために必要な教育、コミュニケーション、人材活用の方法を学び、質の高い医療、看護サービスの提供につなげる	4,950円 (9,900円)
88	VOD (90分)	コーチングの基礎と活用方法	スタッフの自律をサポートする方法として、コーチングの基本的な考え方を理解する。スタッフ自らの力を發揮し、目標に向かって自発的に行動できるよう、対話による気づきや学習、行動を促進する	2,530円 (5,060円)
89	VOD (180分)	組織改革に必要な看護管理者の役割と能力	地域に開かれた病院のトップマネージャーとして、精神保健医療福祉の動向や地域のニーズを把握して組織変革に取り組み、病院・看護部運営に必要なマネジメントおよび、病院経営に参画できる知識を習得する	4,950円 (9,900円)
90	VOD (180分)	病棟管理に役立つ組織分析の理論と方法	組織変革に必要な基礎知識と手法を学び、所属施設の強みと弱みの分析、客観的な評価を通して、今後の組織展望を考える	4,950円 (9,900円)
91	東京 12/5(土)～12/6(日)	精神科看護を元気にする看護管理者の視点	看護管理者が元気でいられるための看護管理のポイントを学ぶ。また、精神医療・看護におけるトピックスに関する情報共有・意見交換を行う	19,800円 (39,600円)

## 診療報酬の算定にかかる研修会

No.	研修会名	ねらい	2026年4月～2027年3月		会員受講料 (非会員受講料) 税込価格
			開催方法	開催日/配信期間	
92	看護補助者活用研修会	診療報酬施設基準に則る「看護補助加算」「看護補助体制充実加算」算定に規定されている、看護師長が受講することが望ましい所定の研修として要件を満たす研修会	ライブ配信	①6/10(水)～6/11(木) ③8/28(金)～④2/26(金) (1日間)	9,900円 (19,800円)
93	認知症の理解とケア	診療報酬施設基準に則る「認知症ケア加算2・3」算定の届出要件を満たす研修会 ※テキスト「認知症ケアマニュアル」つき ※部分受講不可	ライブ配信	①5/21(木)～5/22(金) ②3/4(木)～3/5(金) (2日間)	20,900円 (41,800円)
94	精神科訪問看護研修会～基礎編～	診療報酬施設基準に則る「精神科訪問看護基本療養費」算定の届出要件を満たす研修会 ※いずれかの会期にお申し込みください ※部分受講不可	VOD + ライブ配信	【第1期】VOD:4/30(木)～6/10(水) ライブ配信:5/31(日) 【第2期】VOD:6/18(木)～7/29(水) ライブ配信:7/18(土) 【第3期】VOD:10/28(水)～12/8(火) ライブ配信:11/28(土) 【第4期】VOD:1/28(木)～3/10(水) ライブ配信:2/28(日)	8,250円 (16,500円)
95	重度アルコール依存症看護	診療報酬施設基準に則る「依存症入院医療管理加算」算定の届出要件を満たす研修会(対象疾患はアルコール依存症に限る) ※部分受講不可	東京	11/28(土)～12/2(水)(5日間)	49,500円 (99,000円)
96	医療安全管理者養成研修会	診療報酬施設基準に則る「医療安全対策加算1・2」算定要件を満たす研修会 ※部分受講不可	東京	1/9(土)～1/12(火) 1/14(木)～1/16(土) (7日間)	69,300円 (138,600円)

## 精神障がい者への適切なケアを行うための倫理教育推進事業

日精看では本部・支部、各施設が一体となって全国の精神科看護職の倫理教育を推進できるよう、精神障がい者への適切なケアを行うための倫理教育推進事業を実施しています。

●研修会名：【本部】倫理教育講師養成研修会

●ねらい：看護倫理に関する学習指導や教育活動に携わることができる

●研修時間：7時間(1日)

●開催方法：集合研修

●受講料(税込)：会員11,550円/非会員23,100円

●開催地域：東京(日精看 東京研修会場)

●日程：5月15日(金)

※【支部】看護倫理指導者養成研修会の開催日時等の詳細は「manable(マナブル)」からご確認ください。

## 行動制限最小化を実現するための看護実践推進事業

2026年度より「行動制限最小化を実現するための看護実践推進事業」を開始します。日精看では、令和5年度から令和6年度に厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業)「精神科医療機関における行動制限最小化の普及に資する研究」に参加しました。全国8か所の精神科病院で調査を実施し、行動制限最小化をめざす看護ケア実践プロセスを体系化しました。特に身体的拘束においては看護の視点やケアの工夫を重ねることで、「身体的拘束に頼らない」という臨床現場の変化もみられました。これは精神科看護職が自らの専門性を発揮し、ケアの力で患者の尊厳を守る方向へ現場を変えつつある証であると考えます。日精看では、このような研究成果を契機とし、精神科看護職が中心となって行動制限最小化を実現できるよう、看護実践の拡大と定着に取り組みます。

本事業では、「行動制限最小化をめざす看護ケア実践プロセス」に沿った研修会を全国で実施します。行動制限に頼らない看護の成功体験を共有しながら歩みを進めることで、全国の精神科病院において「行動制限(特に身体的拘束)に頼らない」ことをあたり前とし、看護ケアの力によって患者の尊厳・安全と職員の安心を守ることをめざします。

### ▶「行動制限最小化をめざす看護ケア実践プロセス」



### ▶プラットフォーム



全国の精神科看護職が共有できる情報基盤「行動制限最小化プラットフォーム (Platform for Minimizing Seclusion and Restraint: PMSR)」を日精看オンラインで公開しています。ぜひこちらもご活用ください。

アクセスはこちらから

▶jpna.jp/pmsr



# オンデマンド(VOD)のセット研修をご活用ください

皆さまの看護実践能力の段階や組織での役割、実践の場に応じた8つのセット研修を企画しました。

すべてのセット研修には、倫理にかかる研修会を必ず1つ含めています。

日精看では2026年度も引き続き「精神科看護職の人権意識を高め、倫理的感覚性を磨くための教育活動を行う」を掲げています。  
より多くの精神科看護職の方々に倫理研修を受講してほしいという願いから、セット研修に含まれる倫理研修については無料としています。  
ご自身の看護実践能力の段階や組織での役割、実践の場に応じて、ぜひセット研修をご活用ください。

## セット A すべての看護職が身につけておくべき基本的な知識

- 確かな看護実践の基盤として
- プラッシュアップの機会としてもオススメ



No.	研修会名	時間数	会員受講料 (非会員受講料)
5	重 精神科看護職の倫理綱領 解説	120分	無料
3	重 守秘義務と個人情報保護法	60分	1,650円 (3,300円)
4	重 新 精神科看護職に求められるコンプライアンス	60分	1,650円 (3,300円)
77	医療安全の基本と実践	90分	2,530円 (5,060円)
78	感染予防策の基礎と実践	90分	2,530円 (5,060円)
55	急変時の情報伝達に役立つSBAR	90分	2,530円 (5,060円)
セット価格			10,890円 (21,780円)

## セット B 精神科看護にはじめて携わる方に学んでほしい内容

- 入職時や他科から精神科へ異動になった方にオススメ
- ラダーレベルの目安：  
日精看版ラダーレベルI



No.	研修会名	時間数	会員受講料 (非会員受講料)
6	重 精神科看護に必要な心構えと態度・倫理の基礎知識	120分	無料
1	精神科医療の歴史	90分	2,530円 (5,060円)
2	重 精神保健福祉法の基礎知識	90分	2,530円 (5,060円)
8	精神科看護に必要なコミュニケーションスキルの知識	90分	2,530円 (5,060円)
62	リカバリーの基礎知識と実践	90分	2,530円 (5,060円)
58	重 行動制限最小化看護の基礎知識と看護の実際	90分	2,530円 (5,060円)
セット価格			12,650円 (25,300円)

## セット C 精神科看護に携わり始めたばかりの方に学んでほしい内容

- 入職して半年～1年程度経過した新人の方にオススメ
- ラダーレベルの目安：  
日精看版ラダーレベルI～II



No.	研修会名	時間数	会員受講料 (非会員受講料)
5	重 精神科看護職の倫理綱領 解説	120分	無料
19	セルフケア看護モデルとその活用	180分	4,950円 (9,900円)
21	ストレングスモデルを活用した精神科の看護過程	90分	2,530円 (5,060円)
62	リカバリーの基礎知識と実践	90分	2,530円 (5,060円)
39	向精神薬の基礎知識	90分	2,530円 (5,060円)
54	看護に活かすストレスマネジメント	90分	2,530円 (5,060円)
セット価格			15,070円 (30,140円)

## セット D 個別のニーズを把握する!

- 中堅からベテランの方にオススメ
- ラダーレベルの目安：  
日精看版ラダーレベルIII以上
- ※2025年度セットD研修の  
タイトル変更・一部内容変更



No.	研修会名	時間数	会員受講料 (非会員受講料)
5	重 精神科看護職の倫理綱領 解説	120分	無料
23	精神発達論を対象理解に活かす	120分	3,300円 (6,600円)
20	メンタル・ステータス・イグザミネーションの基礎知識	90分	2,530円 (5,060円)
64	家族看護の基礎知識～精神科看護領域での家族看護～	90分	2,530円 (5,060円)
41	精神科薬物療法を受ける患者の看護	90分	2,530円 (5,060円)
51	精神科における身体合併症看護	90分	2,530円 (5,060円)
セット価格			13,420円 (26,840円)

「manable(マナブル)」でセット研修名を検索してお申し込みください。※QRコードから「manable(マナブル)」にアクセスできます。

- 研修会のNo.は、P.12～16に掲載している研修会に対応しています。  
セット研修には、同じオンデマンド研修が含まれているものもあります。No.をご確認ください。  
ねらいや配信期間をご確認ください。●受講料は研修会の合計金額です。●すべて税込価格を表記しています。

## セット E 対象者や対象者をとりまく人々と協働した看護実践を目指す!

- 中堅からベテランの方にオススメ
  - ラダーレベルの目安：  
日精看版ラダーレベルIV～V
- ※2025年度セットE研修の  
タイトル変更



No.	研修会名	時間数	会員受講料 (非会員受講料)
5	重 精神科看護職の倫理綱領 解説	120分	無料
64	家族看護の基礎知識～精神科看護領域での家族看護～	90分	2,530円 (5,060円)
66	重 チーム医療の推進	90分	2,530円 (5,060円)
22	重 医療者と患者が対等なパートナーとしてかかわるコプロダクション型精神看護過程	90分	2,530円 (5,060円)
7	重 精神科における共同意思決定と支援方法	180分	4,950円 (9,900円)
57	重 精神科におけるクライシス・インバーンション～危機の理解と介入の基本～	90分	2,530円 (5,060円)
セット価格			15,070円 (30,140円)

## セット F 看護管理に携わり始めたばかりの方に学んでほしい内容

- 診療報酬や精神科看護で大切にしたい視点を学びチームの力を引き出します
- 看護管理初心者にオススメ



No.	研修会名	時間数	会員受講料 (非会員受講料)
5	重 精神科看護職の倫理綱領 解説	120分	無料
88	コーチングの基礎と活用方法	90分	2,530円 (5,060円)
86	重 病院組織で取り組む行動制限最小化	90分	2,530円 (5,060円)
84	重 UP 中堅ナースに必要な診療報酬の基礎知識	180分	4,950円 (9,900円)
62	リカバリーの基礎知識と実践	90分	2,530円 (5,060円)
22	重 医療者と患者が対等なパートナーとしてかかわるコプロダクション型精神看護過程	90分	2,530円 (5,060円)
セット価格			15,070円 (30,140円)

## セット G 初心者からベテランの方に役立つ訪問看護の基本を学べる内容

- 訪問看護に携わる方にオススメ
- ※2025年度セットG研修の内容変更



No.	研修会名	時間数	会員受講料 (非会員受講料)
6	重 精神科看護に必要な心構えと態度・倫理の基礎知識	120分	無料
4	重 新 精神科看護職に求められるコンプライアンス	60分	1,650円 (3,300円)
68	重 精神科訪問看護に必要な視点	60分	1,650円 (3,300円)
69	重 精神科訪問看護にかかる医療制度と福祉制度	60分	1,650円 (3,300円)
70	重 精神科訪問看護における連携の必要性	60分	1,650円 (3,300円)
71	重 精神科訪問看護の実際	60分	1,650円 (3,300円)
26	GAFの評価のポイントとアセスメント	90分	2,530円 (5,060円)
セット価格			10,780円 (21,560円)

## セット H 後輩指導や実習指導に携わる方に役立つ内容

- 実習生や後輩に看護を伝え、学び合えるよう精神科看護の基本を学び直します



No.	研修会名	時間数	会員受講料 (非会員受講料)
6	重 精神科看護に必要な心構えと態度・倫理の基礎知識	120分	無料
9	プロセスレコードの基本と実践での活用方法	90分	2,530円 (5,060円)
16	対象理解とニーズの把握につなげる観察と記録	120分	3,300円 (6,600円)
19	セルフケア看護モデルとその活用	180分	4,950円 (9,900円)
62	リカバリーの基礎知識と実践	90分	2,530円 (5,060円)
21	ストレングスモデルを活用した精神科の看護過程	90分	2,530円 (5,060円)
セット価格			15,840円 (31,680円)

## 2026年度 看護実習指導者講習会

厚生労働省の看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインでは、実習を受け入れる看護単位には、実習指導者が2名以上配置されていることが望ましいとされています。本講習会を修了することで実習指導者として届け出ることができます。講習会は、看護教育における臨地実習の重要性および実習指導者としての役割を認識し、効果的な実習指導ができること、また、学生の特性を理解し、教育的配慮ができるように必要な知識・技術を修得することを目的としています。

※日精看の看護実習指導者講習会は2026年度の開催をもって終了いたします

## ● 受講資格：①か②のどちらかを満たす方

- ①看護師養成所または准看護師養成所の実習施設で実習指導に携わっている方や今後携わる予定の方
- ②将来、実習施設で実習指導者になる予定の方

## ● 構成および期間

- ・全課程は210時間です。実1～実8の8つの研修会をまとめて「看護実習指導者講習会」としています  
(初回受講2026年8月15日(土)、最終受講2027年3月25日(木))

## ● 開催方法

- ・オンデマンド配信(VOD)
- ・集合研修：日精看 東京研修会場

## ● 申込方法

- ・受講料金：会員134,200円／非会員268,400円 ※お支払いは一括となります
- ・申込期間：2026年3月2日(月)より申込受付開始 ※定員に達した時点で締め切りとなります(定員60名)
- ・申込方法：「manable(マナブル)」

## ● カリキュラム ※VOD=オンデマンド配信

No.	研修会名	単位数	時間数	日程	開催方法	授業内容	会員受講料 (非会員受講料) 税込価格
実1	教育原理	1	15	2026年9月16日(水)～ 2027年2月15日(月)	VOD	教育の本質の基本知識、概念及び必要な理論を学ぶ。 ・教育の本質、目的 ・教育活動の特性	4,400円 (8,800円)
実2	教育方法	1	15	2026年9月16日(水)～ 2027年2月15日(月)	VOD	教育方法の基本知識及び必要な理論を学ぶ。 ・授業形態、教育方法及び教材の活用 ・教授一学習過程の理解等	4,400円 (8,800円)
実3	教育心理	1	15	2026年9月16日(水)～ 2027年2月15日(月)	VOD	人間の発達と学習過程における心理的な特徴についての基本知識及び必要な理論を学ぶ。 ・成長発達に伴う学習者心理の理解 ・学習過程における心理等	4,400円 (8,800円)
実4	教育評価	1	15	2026年9月16日(水)～ 2027年2月15日(月)	VOD	教育評価の基本知識及び必要な理論を学ぶ。 ・教育評価の目的と方法 ・講義・演習・実習評価の方法等	4,400円 (8,800円)
実5	看護論	1	15	2026年9月16日(水)～ 2027年2月15日(月)	VOD	人間の健康、看護の考え方を多角的に学び、看護についての視野を広げ、自己の看護観を明確にする。 ・看護の機能と役割 ・看護場面と看護観の再構成 ・健康の概念と健康支援 ・倫理的課題とその対応方法等	4,400円 (8,800円)
実6	看護教育課程論	3	45	2026年9月16日(水)～ 2027年2月15日(月)	VOD	看護師等養成所の各教育課程の概要を学び実習指導につなげる。 ・教育課程の基礎知識等 ・2年課程通信制教育制度 ・3年課程教育制度 ・大学教育制度	13,200円 (26,400円)
実7	実習指導方法論 (評価を含む)	2	30	2026年8月15日(土) ～8月19日(水) ※5日間	集合研修	実習指導案について理解し、教授方法を学ぶ。 ・実習指導の方法 ・実習評価の意義と方法等	33,000円 (66,000円)
実8	実習指導方法演習	2	60	2027年3月14日(日)～ 3月18日(木) 2027年3月21日(日)～ 3月25日(木) ※10日間	集合研修	実習指導の展開の実際を学ぶ。 ・臨地実習指導の授業デザインと実習指導案作成 ・授業デザインの作成(ロールプレイ) ・看護学実習指導デザイン作成とロールプレイ ・各デザインのロールプレイ ・まとめ	66,000円 (132,000円)

※オンデマンド配信(VOD)は株式会社ネットラーニングのe-ラーニングを使用します

※実1～実8の研修会を修了した方には受講証明書を発行し、「看護実習指導者」として登録されます

## 第51回日本精神科看護学術集会in静岡

主 題：AIと精神科看護～変化する医療現場と看護のこれから～

会 期：2026年6月26日(金)～27日(土)

会 場：アクシティ浜松(静岡県浜松市) 浜松駅から徒歩5分

参加費：【事前申込】会員=13,200円／非会員=26,400円(税込)

【当日申込】会員=15,400円／非会員=30,800円(税込)

本学術集会では、精神科看護におけるAIについて考えます。

ヘルスケアAI、看護工学、ロボット介護(介護テクノロジー)の最新情報を知り、その活用や今後の展望について紹介します。業務支援やケアの質向上に向けてAIに委ねることは何なのか、さらに入間に求められることは何なのかを考える機会とします。

## 第33回日本精神科看護専門学術集会in和歌山

会 期：2026年11月20日(金)～21日(土)

会 場：和歌山城ホール(和歌山県和歌山市) 南海和歌山市駅よりバス約8分／JR和歌山駅よりバス6分

一般演題(実践報告・研究)、一般公募企画

受付期間：2026年4月1日～5月31日

※精神科認定看護師実践報告は2026年度より廃止しました。

※精神科認定看護師で研究発表や実践報告をお考えの方は、一般演題への演題登録をお願いします。

## ● 一般演題Aと一般演題Bの呼称などが変わりました

## 「一般演題A」から「一般演題」へ

- ・投稿区分の変更：「実践報告」または「研究」となりました。
- ・投稿規程、および執筆要領が改訂されています。それぞれの区分の違い、必要な内容や書き方、引用文献の記載方法をAPA方式に変更することなどが記載されています。

## 「一般演題B」から「一般公募企画」へ

- ・選考方法を募集要項に明示しました。
- ・たんなる自主企画で終わらせないために類似した企画がないことや、新規性(新奇性)が高い企画、これまで実施されていない企画などを積極的に採用いたします。

## ● 研究倫理審査

日本精神科看護協会では、安心して研究を進められるよう、研究倫理審査を実施しています。文部科学省・厚生労働省などの指針や、日本医学会連合、日本看護協会の倫理指針に基づき、研究対象者の人権保護や安全確保、利益相反の確認を行います。

対象は、①会員所属施設に倫理審査委員会がなく審査が受

けられない場合(特別な理由があれば自施設にあっても可)、②研究代表者が日精看会員であること、③日本精神科看護学術集会での発表予定であることを条件に、1件5,000円で申請できます。

研究者が安心して、安全に研究に取り組める環境づくりを支援します。

## ● 共同研究マッチング

現場で必要な課題について共同研究するため、実践者と研究者の出会いの場を提供しています。両者がマッチして共同研究をすることで、正確な手法による研究成果を、学術集会等で発表し、質の高い看護が社会に還元されることにつなげられます。ぜひ、ご活用ください。

利用には、manable(マナブル)への登録とGoogleアカウント(gmail)が必要です。



申込方法等の詳細は  
日精看オンラインでご確認ください。  
jpna.jp/education/academic

## 精神科認定看護師制度

### 2026年度 精神科認定看護師教育課程 スケジュール一覧

研修会名	科目名	開催方法	日程	日数	会員受講料 (非会員受講料) ※税込価格
共通科目	臨床病態生理学	VOD	4/2(木)～4/3(金) 4/6(月)～4/10(金) 4/13(月)～4/15(水)	10日間	424,600円 (849,200円)
	臨床推論	VOD	4/17(金) 4/20(月)～4/24(金) 4/27(月)～4/29(水)	9日間	
	フィジカルアセスメント	VOD	5/1(金)～5/2(土) 5/12(火)～5/15(金)	6日間	
	共通科目演習1	臨床病態生理学、臨床推論	ライブ配信 5/6(水)～5/8(金)	3日間	
	共通科目4	臨床薬理学	VOD 5/18(月)～5/22(金) 5/25(月)～5/30(土)	11日間	
	共通科目5	疾病・臨床病態概論	VOD 6/2(火)～6/4(木) 6/9(火)～6/11(木) 6/16(火)～6/20(土)	11日間	
	共通科目演習2	フィジカルアセスメント	東京 6/5(金)～6/6(土) 6/7(日)～6/8(月)	2日間	
	共通科目演習3	臨床薬理学	ライブ配信 6/13(土)～6/14(日)	2日間	
	共通科目6	医療安全学/特定行為実践	VOD 6/23(火)～6/26(金) 6/29(月)～7/1(水)	7日間	
	共通科目演習4	疾病・臨床病態概論、医療安全学/特定行為実践	ライブ配信 7/9(木)～7/11(土)	3日間	
	共通科目実習	臨床推論、フィジカルアセスメント、医療安全学/特定行為実践	東京 7/15(水)～7/20(月) 7/22(水)～7/27(月)	6日間	
科目修了試験	全共通科目(6科目)	オンライン	8/3(月)～8/5(水)	3日間	
認定科目	認定科目1	精神科看護学、精神科看護における看護倫理、意思決定支援	東京 8/8(土)～8/12(水)	5日間	213,400円 (426,800円)
	認定科目2	ライフサイクルとメンタルヘルス	VOD 8/17(月)～8/20(木)	4日間	
	認定科目3	精神科看護に関連した法規と制度	VOD 8/24(月)～8/27(木)	4日間	
	認定科目4	精神科医療の治療を支える技術、看護研究	ライブ配信 8/30(日)～9/2(水)	4日間	
	認定科目5	精神科医療の治療を支える技術、関係性を築く技術、精神科看護学	東京 9/5(土)～9/9(水)	5日間	
	認定科目6	コンサルテーション論、教育論	東京 9/12(土)～9/15(火)	4日間	
	認定科目7	安全を守る技術、地域生活を支える技術	ライブ配信 9/18(金)～9/21(月)	4日間	
	認定科目8	リエゾン精神看護、看護マネジメント論	東京 9/24(木)～9/27(日)	4日間	
演習・実習	総合演習	総合演習	原則として自施設 VODなど	9月～10月の指定された期間、他に集合研修あり	126,500円 (253,000円)
	臨地実習I	臨地実習I	協会指定 実習施設	11月～1月の指定された期間、他に集合研修あり	
	臨地実習II	臨地実習II	原則として 自施設	11月～1月の指定された期間、他に集合研修あり	
	修了試験		東京 2/19(金)	1日間	

※基本の講義時間(ライブ配信・集合研修): 9時～16時 / ※オンデマンド配信(VOD)の日数は1日3時間程度視聴した場合の日数  
※東京: 集合研修 / 東京研修会場(一部は東京研修会場およびその近隣)

### 精神科認定看護師制度とは?

当協会では、精神科認定看護師を養成しています。臨床推論を活用した心身両面へのアプローチ、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに参画できる看護実践ができるようになります。制度の詳しい情報は、日精看オンラインでご確認ください。

精神科認定看護師が  
算定要件に含まれている診療報酬  
● 精神科リエゾンチーム加算  
● 認知症ケア加算  
● 機能強化型訪問看護管理療養費



jpna.jp/education/nintei

#### 資格取得の概要

出願要件: 看護師の免許取得後5年以上、そのうち3年以上は精神科看護の看護実務経験が必要です



#### 精神科認定看護師をめざす方のための説明会

日 程: 2026/5/30(土)  
開催方法: ライブ配信(VOD後日配信)  
内 容: 制度の概要、精神科病院、総合病院、訪問看護ステーションの実践報告など  
参 加 費: 無料

### 精神科認定看護師対象の研修会!

これらの研修会は、更新の際の「F精神科認定看護師を対象にした研修会」の活動実績に該当します。manaaable(マナブル)からお申し込みください。

研修会名	開催方法	日程	日数	会員受講料
精神科認定看護師ブラッシュアップ研修会	東京	5/2(土)	1日間	6,600円
精神科認定看護師フォローアップ研修会	ライブ配信 6時間	10/2(金)	1日間	6,600円
精神科認定看護師実践報告会	ライブ配信 6時間	10/3(土)	1日間	6,600円

※定員60名

## 特定行為研修制度

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの中で、精神科看護師が積極的にチーム医療に参画するために必要とされる心身両面にわたる高度な臨床実践能力の習得をめざすことを基本理念に、特定行為研修を開講いたします。特定行為は、看護師が手順書に基づいて行う専門性の高い診療の補助です。対象者の状態を見極め、タイムリーにケアを実施できれば、対象者にとってメリットになります。専門的な知識を理解し、実践的な思考力と判断力で、質の高い看護実践やチーム医療の推進に貢献します。

### ● 日精看で受講できる特定行為区分 「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」

この特定行為区分には、「持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整」「脱水症状に対する輸液による補正」の2つの特定行為が含まれています。

### ● 特定行為研修 スケジュール一覧 2026年度は区別科目のみ実施しています

	研修会名	科目名	開催方法	日程	時間数・日数	会員受講料 (非会員受講料) 税込価格
共通科目	※精神科認定看護師教育課程と合同開催	臨床病態生理学	VOD ライブ配信 東京	(4月1日～8月上旬)	31時間	精神科認定看護師教育課程と同じ
		臨床推論			45時間	
		フィジカルアセスメント			45時間	
		臨床薬理学			45時間	
		疾病・臨床病態概論			41時間	
		医療安全学/特定行為実践			45時間	
科目修了試験	全共通科目(6科目)		オンライン	8月上旬	3日間	
区別科目	講義	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	VOD	8月上旬～8月中旬	12.5時間	92,400円 (184,800円)
	演習		ライブ配信	8月23日(日)	2時間	
	筆記試験		オンライン	8月30日(日)、31日(月)	2日間	
	実習		協力施設	9月～10月中旬	10症例	

### ● 特定行為研修を修了するまで

出願要件	受講資格審査	共通科目 (講義・演習・実習)	区別科目 (講義・演習)	区別科目 (実習)	修了判定
・看護師免許取得後5年以上の実務経験があること、等	・書類審査 詳細は日精看オンライン、公式LINE、X等でお知らせします。(2026年夏)	・スケジュールにそって、講義・演習・実習・試験等を受講。	・スケジュールにそって、講義・演習・試験・実習等を受講。	・本協会の協力施設(全国5か所)で行います。実習の調整は協会事務局が行います。	・特定行為研修管理委員会が受講状況を確認し、修了判定を行います。 ・修了したと認められた場合、修了証が交付されます。

### ● 第2回 特定行為研修 受講資格審査

2027年度以降は、共通科目・区別科目を実施します。

2027年度受講生を募集する受講資格審査は、2026年夏に情報公開します。

詳細は、日精看オンライン「特定行為研修制度」のページでご確認ください。



jpna.jp/education/tokutei

日精看は看護師の特定行為研修の指定研修機関です。指定研修機関名：一般社団法人日本精神科看護協会 指定研修機関番号：2213031

こころの健康を通して、  
だれもが安心して暮らせる社会をつくります

#### 日精看スタディガイド 2026

2026年(令和8年)2月22日発行

一般社団法人日本精神科看護協会

〒108-0075 東京都港区港南2-12-33 品川キャナルビル7F

TEL 03-5796-7033 / FAX 03-5796-7034 / E-MAIL [info@jpna.or.jp](mailto:info@jpna.or.jp)

©日本精神科看護協会 2026 | 本誌記事、写真、イラストの無断転載を禁じます

研修会情報を公式LINE・公式Xでも随時ご案内を  
しております！ぜひ、この機会にご登録ください！

公式  
LINE



公式 X

[x.com  
/JPNA\\_NET](https://x.com/JPNA_NET)

日本精神科看護協会の  
ホームページはこちら

日精看  
オンライン



[jpna.jp](http://jpna.jp)